

小金沢連峰 石丸峠～小金沢山・牛奥雁ヶ腹摺山・黒岳～湯ノ沢峠

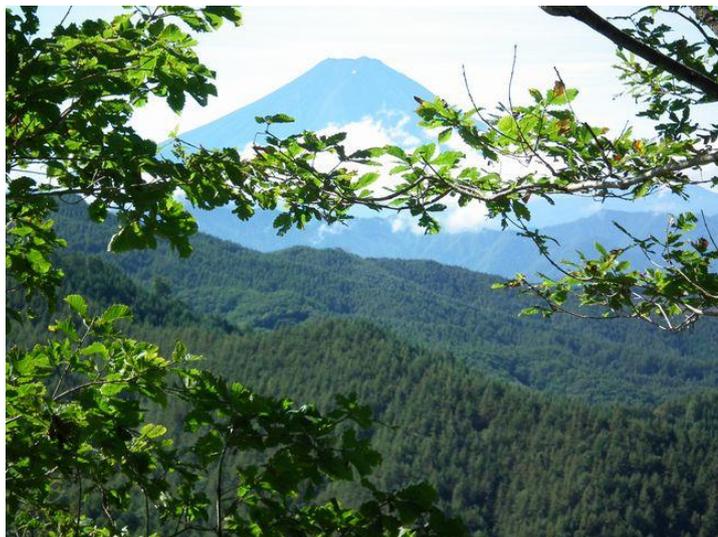
山行日：2012年9月16日（日）天候：曇り

コース：八王子 6:55－甲斐大和 8:01～10－（バス）小屋平 8:51～55…中間林道 9:17～25…石丸峠 10:07～15…狼平 10:23…小金沢山（昼食） 11:31～12:03…牛奥雁ヶ腹摺山 12:40～50…胡桃沢の頭 13:35～40…黒岳 14:15～25…湯ノ沢峠 15:20～31…湯ノ沢峠入口 16:10～木賊・六本橋（タクシー3台） 16:45～17:30－甲斐大和 17:45～18:07－八王子

参加者：L五、新、西、三、相、小、長、黒、中、檜、野 11名



左；甲斐大和駅からバスに乗り小屋平下車



右：右手に富士山が見える。この日は残念ながらしばらくすると雲の中へ、天気予報では午後から雨の降ることもあるとか？ 向かう山並みも雲があやしく流れる。



小屋平から急登 1 時間 10 分ほどで石丸峠へ、先行のパーティーを追い抜き、まだまだ元気、快調、絶好調！
このカラマツ林も秋の紅葉は素晴らしいことだろう！ またいつの日か来たい～

右：カラマツ林を抜けるとご覧のようななだらかな登山道となる。熊沢山の斜面を巻いて石丸峠へ。

この時点では青空と遠く南アルプスの山々が見えた。

石丸峠で休もう！





左：石丸峠にて

斜面を上る道は熊沢山を越えて大菩薩峠への道。私たちは左斜面を通り峠に着いた。

中里介山の小説「大菩薩峠」の映画の俳優の話で盛り上がる。

ほとんどの人が主人公を演じた俳優の片岡知恵蔵を知らず、皆さん若いふりをしているのか、たんに記憶がないのか？ 後者が本当だろう！

左下：大菩薩湖 15年ほど前に完成した人造湖、湖の向こうの山並は、日川峠から源次郎岳へ続く山並み、塩山への登山道がある。



マルバダケブキと黒岳



左：小金沢山（雨沢山ノ頭）2014m、小金沢連嶺最高峰にて記念写真

これから牛奥雁ヶ腹摺山、川胡桃沢ノ頭、黒岳を越えて行かねばならぬ、元気なうちに写真に納めようと、見知らぬ人をお願いした一枚です。



左：小金沢山到着、若者一人がアマチュア無線の交信中、横浜は雨らしい！と聞こえた。不参加の〇〇さん正解かもねと、今頃グラス片手にお昼寝かしら！
それともクシャミ、風邪ではありません。

右：牛奥雁ヶ腹摺山にて
残すは二つのピーク、頑張りましょう。



狼平付近からこれからの縦走路、この風景が小金沢の見どころでしょう。



キオンらしい？

11時9分 樹林の道を行く



左：牛奥雁ヶ腹摺山より笹原を下る。

降り立った最低鞍部が賽ノ河原だが、石がゴロゴロしているわけでもなく、笹原の素敵なところだ。

以前歩いた時には、笹原を掻き分けるような踏み跡もはっきりしない山道だったが、今回歩いてみるとそんなところは一切なく、迷うようなところもなかった。



胡桃沢ノ頭



黒岳近くのブナの美林



左：黒岳の一等三角点

右：山頂の昔懐かしいハイキングコース案内、マツダランプの文字も見える。





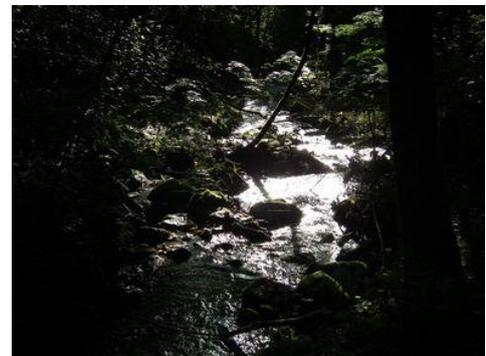
黒岳から白谷ノ丸を下る。
晴れていれば前面に富士山や三つ峠が見えるのだが、残念ながらそれは望めず。
ひたすら湯ノ沢峠を目指す。



左：ようやく湯ノ沢峠に到着
右は大月へ、私達は左へ下り、
湯ノ沢峠避難小屋前で小休止。

あとは沢すじの道を 25 分
の頑張りです。タクシーに乗れる。

しかし、簡単に山行を終わ
らせてくれなかった。



柳場沢を下る。

順調に終わるはずの山旅、最後にきてとんだハプニング、現代の最高機器を持ってしても、「圏外表示」では連絡手段がない。そこで L さん携帯電話片手に林道を走ったり歩いたり、行けども行けども表示は無情にも消えない。ついに木賊まで来てしまった。ようやくタクシー会社に連絡が取れ、3 台の車に乗ったのは 17 時 30 分となってしまった。

タクシー運転手曰く、湯ノ沢峠付近は電波は届かない、黒岳近くで届くらしい。
文明の利器に頼らない山行計画を考えねばと考える次第です。(L)